

決算・予算 報告

(資料6)

【収入の部】

項目	2022年度	2021年度	
	予算	決算	予算
町会費	1,750,000	1,712,100	1,750,000
補助金(区都)	720,000	1,188,000	720,000
雑収入(還付)	40,000	20,000	40,000
受取利息	0	27	0
小 計	2,510,000	2,920,127	2,510,000
前年繰越金	3,832,875	2,860,273	2,860,273
合 計	6,342,875	5,780,400	5,370,273

【支出の部】

項目	2022年度	2021年度	
	予算	決算	予算
人件費(謝金)	250,000	120,000	250,000
防災対策	300,000	267,610	300,000
交通防犯対策	500,000	729,919	500,000
地域環境保全費	300,000	114,330	10,000
青少年育成	150,000	71,000	150,000
敬老(慶弔)	140,000	135,740	140,000
諸寄付関係	100,000	15,000	250,000
渉外費	100,000	40,000	150,000
会議費	200,000	2,400	300,000
修繕費	10,000	0	10,000
印刷費	330,000	328,947	320,000
通信費	40,000	32,725	70,000
事務費	50,000	52,907	45,000
雑費	40,000	36,947	15,000
小 計	2,510,000	1,947,525	2,510,000
次年繰越金	3,832,875	3,832,875	2,860,273
合 計	6,342,875	5,780,400	5,370,273

■ 2021年度決算上のコメント

● 収支

町会活動は会員が参画するプロジェクトがコロナの影響あり低調で100万円弱の黒字となった。

● 収入

- ①一部2022年度にずれ込むが、町会費はほぼ予算通り。
- ②区からの補助金は、物品購入などのプロジェクト申請で予想以上に増えた。

● 支出

- ①リアル総会、祭りや会合が軒並み中止となり、大幅な支出減となった。
- ②防犯対策費は予算をオーバーしたが、防犯カメラを1台新設したため。
ただし、来年度に、5/6が補助金とし補填される
- ③環境保全費が予算を大幅にオーバーした。ラビ目黒付近の山の手線・埼京線の騒音対策をJR東に申し入れたが、うちが明かず。弁護士の指導を受け始めたため。

□ 2022年度の予算について

○ 支出総額=収入総額 の方針のもと、総額は昨年予算を踏襲

- ①新型コロナの収束は見え、各種イベントの参加人数の制限・中止がどこまで続くか？
相当の支出減となろう。
- ②環境保全費を昨年度実績の3倍弱に積み上げた。弁護士指導が増えるの見込んでいる。
- ③防犯カメラ1基新設予定。